

「五條のあゆみ」

令和3年(2021)3月31日発行

令和元年(2019)から進めている新しい『五條市史』編纂の一環として、7テーマの40項目にまとめたものです。

26 行政組織の移り変わり

明治4年(1871)奈良県誕生

その後、堺県、大阪府の一部になり

明治20年(1887)奈良県が再度設置された。

明治13年(1880)宇智吉野郡役所が設置された(現五條市役所の場所)。明治27年(1894)吉野郡と分離し宇智郡役所に。大正15年(郡役所廃止)。建物は昭和6年(1931)五條町役場の庁舎として再利用。



旧五條町役場

写真：五條市設立公文書 奈良県立図書情報館蔵

27 鉄道・索道の整備

鉄道網の整備

明治29年(1896)南和鉄道が高田～五條～二見開通、明治33年(1900)紀和鉄道が和歌山～五條開通。明治39年(1906)両線国鉄に。

索道の開通

明治40年代～大正中頃には五條の二見から檜辻・富貴・大塔村阪本を繋ぐ索道(大和索道)が建設された。五條からは和歌山や高田方面に物資を運べる鉄道があり索道-鉄道という輸送手段の登場は、二見地域を中心とする一時代を築いた。索道の開通により二見からは米・大豆・雑穀・酒類・塩・味噌・肥料・雑貨などが運ばれ、阪本からは木材・桶木樽丸類・板類・杉・桧皮・箸・杓子などが運送された。又、昭和初めからは鉱石運搬のため野迫川村紫園まで延長されたが、自動車の普及により昭和30年代にその役目を終えた。

五條のあゆみ

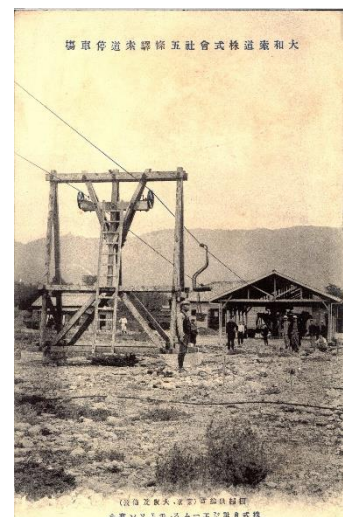


五條市教育委員会



昭和40年(1965)頃の二見川端駅

写真：五條市設立公文書 奈良県立図書情報館蔵



大和索道五條駅停車場

写真提供：成瀬匡章氏